

# 平成 24 年度事業報告

公益財団法人 文字・活字文化推進機構

# 平成 24 年度 事業報告

## 1. 文字・活字文化振興に関する事業

### 1) 制度・政策活動

#### ①印刷文化・電子文化の基盤整備に関する勉強会(座長 中川正春 衆議院議員)

デジタルネットワーク社会に適した出版物に係る著作者、出版者の権利を中心に討議。今年度は計4回開催。6月に「中間まとめ案」を発表。7月25日には、衆議院第一議員会館会議室にて公開シンポジウム「出版文化の今後と出版者への権利付与」を開催した。構成メンバーは超党派国会議員、著作権者、学識者、出版業界、印刷業界等。また、中川勉強会の論議を受け、出版物に関する権利の法整備のために、理論上・運用上・制度上の課題を洗い出し、その扱いや今後の運用について関係者間で合意を得ることをめざす、「出版物に関する権利検討委員会」を設立。本委員会ならびに分科会を4回開催した。

#### ②学校図書館活性化のための活動

4月2日、日本出版会館会議室で、研修セミナー「学校図書館整備充実について」を開催。関係者250名が聴講した。

7月5日、衆議院第一議員会館会議室で、学校図書館活性化協議会(会長 河村建夫 衆議院議員)が開催され、学校図書館法改正について取り組むことを確認した。

10月10日、衆議院第一議員会館大会議室で、「学校司書の法制化を考える全国の集い～学校図書館の活性化を目指して～」を開催。図書館関係者を中心に250人が参加した。(写真)



#### ③シンポジウム「文字・活字文化の将来とデジタル教科書を考える」(7/19)

6月13日の行政事業レビュー(府省庁版事業仕分け)による「フューチャースクール推進事業」廃止判定を受けて、7月19日に衆議院第一議員会館多目的ホールで、緊急シンポジウムを開催。230名が参加した。



## 2) 読書・体験活動事業(共催:国立青少年教育振興機構)

### ①絵本を贈り合う文化の創造をめざして

#### ▼「よむよむ・わくわく広場 in 静岡」

9月29日30日の両日、静岡市・ツインメッセ静岡で開催。地元静岡の企業による体験イベントや作家による読み語り、子ども新聞づくりなどを行った。二日間で約1,600人が来場。



#### ▼「親子で絵本を楽しもう in 大阪」

10月7日に東大阪市・大阪樟蔭女子大学で開催。絵本作家、あまんきみこさんたちによる読み語り、歌手の早見優さんの講演、超大型絵本を使った絵本と音楽のおはなし会、大学生のワークショップなどに約1,200人が参加した。



#### ▼「よむよむ・わくわく広場 in 東京」

1月19日20日の両日、渋谷区・国立オリンピック記念青少年総合センターで開催。絵本作家のよみがたりや木片を使った工作など様々な体験イベントを開催。二日間で約2,100人が来場した。



### ②知的書評合戦「ビブリオバトル首都決戦2012」(共催:東京都)

10月21日に千代田区・ベルサール秋葉原で開催。全国30ブロックの予選を勝ち抜いた大学生など32人が出場した。観客は約2,000人。全国の予選参加者は524人。



### 3) 言語力向上事業

#### ①平成 24 年度言語力検定

これまで同一課題文で行ってきた3・4級を、3級と4級に分離して実施。社会人から小学生まで、総計 5,180 人が2級、3級、4級、5・6級を受検した。

#### ②言語活動充実のための教員研修会

9月7日栃木県足利市民会館で第1回言語力教育研修会「ことばの力」を開催。国立教育研究所研究員など6名の講師による講演、実践事例紹介などを行なった。教育関係者、塾講師を中心に120名が集まった。



## 2. 人材育成・能力開発のための事業

### 1) 子ども読書大使の養成(共催:国立青少年教育振興機構)

8月3日から3日間、38都府県49校小学生96人を東京・代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターに招待し、「平成24年度 わくわく子ども読書キャンプ」を実施した。子どもたちは、国際こども図書館の見学や、10グループに分かれて「わたしたちの夢の図書館」をテーマにワークショップを行った。



### 2) 言語活動・読書推進リーダーの育成

#### ▼シンポジウム「スポーツを読む」(共催:日本経済新聞社)

12月4日に千代田区・日経ホールで開催。作家の沢木耕太郎さんが「スポーツを書くこと」と題して基調講演を行った。パネル討論にはロンドン五輪女子重量挙げ銀メダリストの三宅宏実さんをはじめ、堀場厚さん(堀場製作所会長)、大橋未歩さん(テレビ東京アナウンサー)が登場し、スポーツと言葉の力について語り合った。約600人が参加した。



#### ▼社会人向け研修会

当機構の調査研究委員である北川達夫さんによる研修会を、東京都庁職員等に向けて行った。

4月10日 東京都庁新任者研修 参加者:1,160名

7月11日 東京都庁監督職・主任者研修 参加者:510名

2月12日他 都立職業能力センター(多摩、城北、城東、城南) 参加者:250名

### 3. 情報提供・広報活動のための事業

#### 1) 広報活動

① 活動実績や活動方針、講演会や研修会等の周知

ホームページ、会報等でシンポジウムなどの案内や募集、活動報告を告知。

② 文字・活字文化の日記念事業(共催:国立青少年教育振興機構ほか)

「伝えよう絵本の魅力とことばの力」

10月28日に千代田区・一橋記念講堂で開催。ケロポンズのショーや豪華講師12人による「絵本の読み語りマラソン」、五木寛之さんの講演「本の森、活字の海」などを10時から18時30分まで三部構成で行った。来場者は約1,250人。



#### 2) 国立国会図書館の書誌データ普及(JAPAN/MARC)

日本図書館協会など関係諸団体と連携して国立国会図書館書誌データの普及に努めている。

#### 3) 読書環境整備フォーラム

▼全国リレーシンポジウム「知の地域づくりを考える」(実行委員長 片山善博 元総務大臣)

学校図書館、公共図書館の充実と、地域書店の活性化について討論するシンポジウム「知の地域づくりを考える」を5都市で開催し、合計1,887名が参加した。

▽4月28日 名古屋市 中区区役所ホール

共催:中日新聞社ほか 参加者:400名

パネリスト:片山善博、藤原和博(東京学芸大学客員教授)、森美穂(一宮市立西成東小学校長)

▽5月28日 高槻市 関西大学高槻ミュージックキャンパスミュージックホール

共催:朝日新聞社ほか 参加者:437名

パネリスト:片山善博、あさのあつこ(作家)、浜田剛史(高槻市長)、肥田美代子(当機構理事長)

▽7月21日 甲府市 山梨県立文学館講堂

共催:毎日新聞社、山梨日日新聞社ほか 参加者:400名

パネリスト:片山善博、阿刀田高(作家)、横内正明(山梨県知事)、肥田美代子

▽12月15日 熊本市 崇城大学市民ホール

共催:熊本日日新聞ほか 参加者:250名

パネリスト:片山善博、桑原隆広(熊本県立大学教授)、たつみや章(作家)、肥田美代子

▽1月12日 仙台市 エルパーク仙台

共催:河北新報社ほか 参加者:400人

パネリスト:片山善博、伊達宗弘(仙台大学客員教授)、中川清和(東北学院大学図書館長)、肥田美代子



(敬称略)